

## 陸前高田発

### さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)



8月13日は陸前高田災害FMの阿部裕美さんが、「奇跡の一本松駐車場」にオープンした観光物産施設「一本松茶屋」から中継で伝えてくれました。お土産品など1000アイテムを販売する「たがだ屋一本松店」、「和カフェsturya」、「ラーメン食堂・岩張楼」の3店舗と復興の様子を写真で紹介している交流室があります。阿部さんがインタビューした「たがだ屋一本松店」店長の三浦正克さんは「一本松見学の通過点ではなく、仮設店舗で復旧・復興に頑張っている他の店に足を運んでもらう窓口になりたい。」と話していました。(8/13)

## 大槌発

### 震災犠牲者追善供養



大槌町吉里吉里の吉祥寺では、お盆にあわせて東日本大震災の犠牲者を供養する法要が営まれ、遺族などおよそ100人が参列しました。震災が発生した時刻の午後2時46分に遺族代表が鐘をついた後、法要が営まれ、亡くなった人たちの冥福を祈りました。(8/14 ニュースエコー)

大槌町吉里吉里の吉祥寺では、お盆にあわせて東日本大震災の犠牲者を供養する法要が営まれ、遺族などおよそ100人が参列しました。震災が発生した時刻の午後2時46分に遺族代表が鐘をついた後、法要が営まれ、亡くなった人たちの冥福を祈りました。(8/14 ニュースエコー)

## 陸前高田発

### かさ上げ前「最後のお盆」

陸前高田市の旧市街地は、地盤のかさ上げ工事が本格化したことに伴い7月末から立ち入りが禁止されていますが、お盆の間だけ解除されました。今年のお盆で、自宅があった場所や家族の遺体が見つかった場所に花を手向けることができる最後の機会となるため、花を手にした家族連れなどが訪れていました。(8/14 ニュースエコー)



## 東京発

### 『一本松は語った』副読本掲載



陸前高田市の「奇跡の一本松」の物語『一本松は語った』が、東京書籍が出版する小学5年生の道徳の副読本に掲載されます。物語の作者は一関出身のイラストレーター「なかだえり」さんと、頭一つ飛びぬけた存在だった一本松を高田松原の歴史を知る「長老」に見立て、繰り返す津波に立ち向かってきた地域の人々の営みを語らせることで、未来への希望を伝えています。震災の年の8月に陸前高田を訪れ「高田松原を守る会」の人たち取材し、絵本として書き上げた作品が出版社の目にとまり、副読本への掲載が決まりました。「奇跡の一本松」はモニュメントとして保存・整備され、今も多くの人々が訪れています。一本松の保存に中心となって力を尽くした「高田松原を守る会」の人たちは、今回の副読本掲載を「震災の風化を防ぐことにもなる」喜んでいます。(8/19 ニュースエコー)

## 大船渡発

### さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週は大船渡「FMねまらいい」の及川透子さんが、8月23日(土)に大船渡市末崎町の碁石海岸で行われる「三陸国際芸術祭2014」について伝えてくれました。今回初めて開催されるもので、市内はもとより県内や国外の郷土芸能が集まります。獅子踊り・鎧剣舞・韓国の農芸・バリ舞踊などが披露される予定です。またコミュニティーダンスとして、大船渡市内の子どもたちや高齢の方たちも一緒になって思い思いに創作ダンスを踊るという企画もあります。及川さんは、「ぜひ多くの方々に来ていただき、大船渡の元気を発信するきっかけの一つになれば」と話していました。(8/20)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibt.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122